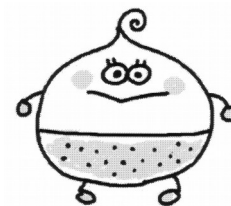


HDM推進会（第 66回）／ごみゼロネット推進会（第 88回）議事録

開催日： 2015 年 (H27 年) 9 月 9 日 (水) 10:00 ~ 11:50

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 大橋、加藤、杉本、桐生、林、川村（作成）



議 題：

1. 8/25 (火) 久喜宮代衛生センター 生ごみ処理施設見学会報告の説明 (加藤氏作成資料添付)
 - 今回の見学会は ごみ対策課長の企画であった 従来よりのHDMに対する風向きが変わってきたのか、、、
 - 日野市は 10 月にかかなりの人数で見学を予定しているとの事

2. 「可燃ごみ減量のための生ごみ分別収集に向けた試行実施を求める」陳情書趣旨採択に対する市の回答に反論する 加藤氏作成資料による説明、(9/9 加藤氏よりのメールにての資料参照)
 - 市の回答は堆肥を製造する生ごみを受け入れる業者がないとの事だったが、加藤氏が 探したところ 該当する業者(東大和市 比留間運送)があった。
 - 分別収集は市としては 行わないと以前言っていた。市長の方針なのか 分別収集しない理由を無理やりこじつけている感じの回答である
 - ごみ減量と言っているが、実情は むしろ増えている、この事を問題視しない市議会も問題であるごみ減量に真剣に取り組む意識があるのか 疑問を感じざるを得ない。
行政は のらりくらりと回答し、時間をかけて分別収集意見を遠ざける考えであるようだ。
粘り強く対応していく 我慢比べ的な事が大事な事のように。

4. その他
 - 日野市はごみ減量審議会を5月から開催している。
公募市民 40 名との事 その中に 10 名反対派が入っている小金井市と大変な違いがある。
 - 日野市は 将来的に焼却ゼロをめざすビジョン打ち出し、ごみ減量においても他にない施策を行っていくと高い目標を掲げている。
 - 日野市、国分寺市とも ごみ減量についての施策の数値目標を発表している、小金井市は発表なし
 - 周辺環境整備費について 予算執行が始まっているが その内容について 市議会での質問もない日野市に対して 小金井市は なにも言わず 言われたことを 実行するだけの状況。
 - 日野市の市民活動グループより 小金井のごみ減量について 意見を言って貰う事が非常に有効と思われる 現在も意見交換等しているが今後も密にしていく(加藤氏。)
 - 小金井市民も学校での生ごみ乾燥化堆肥化処理等の減量運動実施している、それ以外のごみは3市共同による焼却処理で その為のお金をだせば良いとの考えが多いのではないかと。
 - 国分寺市は小金井市との共同処理協定解消後、現処理施設延命工事等の検討もあったが、小金井市よりの3市共同処理の提案(都からの提案もあったと推察される)を採用したと思われる。
 - 熊谷清掃社より臭気の改善したので 再度見学して欲しいとの要望がある(橋詰氏折衝中との事)
 - 大村商事イージェット方式 佐久平見学の誘いもある。
 - 3市市民生ごみ懇談会開催 11 月 6 日 (9/9 加藤氏よりのメール参照してください)

以上

次回打合せ 10 月 14 日 (水) 10:00~12:00 コミュニティサロン・はけ